

小児用補助人工心臓EXCORの紹介

高度な医療技術と医療体制で、包括的ケアへ

心臓血管・呼吸器外科学講座 准教授 打田俊司

人工心臓には埋め込み型と体外式の2種類があります。小児用として世界で認可されているのはBerlin Heart社の体外式補助人工心臓EXCOR（エクスコア）ただ一つです。これは、拍動流型で空気圧駆動を行うポンプがついており、成長による体格の増大に伴い2.5kgから80kgまでポンプシステムを選択できます。長期的に安定して心臓補助を行えるシステムであり、キャスター付き駆動装置により院内での移動も可能。実際に装着している患者さんは院内売店で買い物をすることもできています。

当院は2016年に1回目の認可を受けました。現在EXCORを複数台所持し、常に1～2名の患者さんを治療できる体制を作っています。中四国エリアで唯一EXCORを導入して補助人工心臓治療を行っている施設でもあります。小児循環器専門医、人工心臓管理技術認定士、専門研修を受けた看護師、臨床工学技士、薬剤師、臨床心理士、栄養士といった多職種でチーム構成をし、治療・看護にあっています。こうした高度かつ総合的な体制で、患者さんへの医療だけでなく本人やご家族への精神的なケアまで包括的に取り組んでいます。



PROFILE

うちたしゅんじ◎1990年愛媛大学医学部卒業後、医学博士取得。東京女子医科大学日本心臓血管研究所、ルートヴィヒ・マクシミリアン大学、長野県立こども病院を経て、2015年4月から現職。附属病院小児総合医療センター長兼任。趣味はサッカー、読書。